



Integrated Human Sciences Program
for Cultural Diversity,
The University of Tokyo

IHS P3 ワークショップ

Let's talk with Drs. Artur Jarmolowski and Andrzej Wierzbicki

この度、IHS プロジェクト3では、アダム・ミツキエヴィチ大学（ポーランド）の Artur Jarmolowski 教授とミシガン大学（NUS、アメリカ）の Andrzej T. Wierzbicki 准教授をお迎えし、アメリカとポーランドでの研究生活や学術活動等を話していただきながら、学生の皆さんにキャリアパスを考えていただく機会をもつことになりました。Wierzbicki 氏は植物でのエピジェネティクス、Jarmolowski 氏は植物での遺伝子発現制御を研究テーマとされています。皆さんの知りたいことについての質問もうけていただき、IHS 生との対話の機会を設けたいと思います。この貴重な機会に是非足をお運び下さい。

登壇者

Andrzej T. Wierzbicki 准教授／アメリカ ミシガン大学

Artur Jarmolowski 教授／ポーランド アダム・ミツキエヴィチ大学

担当教員：渡邊雄一郎（大学院総合文化研究科／IHS）

日時：2016年3月15日（火）16:00-19:00

場所：東京大学駒場 I キャンパス ファカルティハウス セミナー室

使用言語：英語

備考：事前要登録（project3 [at] ihs.c.u-tokyo.ac.jp までお願いします）・入場無料

お二人に自己紹介をまずしていただきます。その後、参加者は自分の研究内容、IHS プログラムとの関わりを 5-10 分程度で説明できるように、レジュメなど用意して下さい。お二人とテーブルを囲んで、直接話を聞いてもらえる場となる予定です（本授業に関するお問い合わせは、project3 [at] ihs.c.u-tokyo.ac.jp までお願い致します。）

※注意 IHS プログラム生には、参加後、報告書を提出していただきます。また、本ワークショップは IHS スタッフにより撮影・録音されます。撮影した画像・映像・音声を IHS の活動報告などにおいて使用させていただく可能性があることをご了承の上、ご参加ください。

主催

東京大学大学院博士課程教育リーディングプログラム「多文化共生・統合人間学プログラム（IHS）」
教育プロジェクト3「科学技術と共生社会」

IHS P3 講演会

植物エピジェネティクス，遺伝子発現制御研究 と ポーランド，アメリカの大学での研究生活

この度、IHS プロジェクト3では、アメリカ ミシガン大学の Andrzej T. Wierzbicki 准教授とポーランド アダム・ミツェヴィチ大学の Artur Jarmolowski 教授をお迎えし、それぞれの研究内容およびアメリカ、ポーランドの大学での研究について紹介頂く講演会を開催する運びとなりました。

コメンテーター



Andrzej T. Wierzbicki 准教授
アメリカ ミシガン大学



Artur Jarmolowski 教授
ポーランド アダム・ミツェヴィチ大学



Richard Shefferson 准教授
本学大学院総合文化研究科広域科学専攻

Wierzbicki 氏は、植物でのエピジェネティクスを研究テーマとされています。ワルシャワ大学で博士号を取られた後に、渡米しセントルイスのワシントン大学での博士研究員を経て、2009 年から現在の職に就かれています。ポーランドで学問を修め、そして海外にでて活躍する思いを含めて、研究の話をしていただく予定です。Jarmolowski 氏は、植物での遺伝子発現制御を研究の専門とされています。アダム・ミツェヴィチ大学で学士、博士号を取られた後に、渡米しマサチューセッツ大学アマースト校、EMBL (ハイデルベルク)、ジュネーブ大学での博士研究員を経て、1984 年から現在の職に就かれています。ポーランドで学問を修め、そして海外にでてのキャリア、さらにヨーロッパ諸国、EU の変貌の中での経験を含めて、研究の話をしていただく予定です。国際的な環境における研究、教育活動についてお聞かせ頂く貴重な機会となると思います。是非足をお運び下さい。

担当教員：渡邊雄一郎（大学院総合文化研究科広域科学専攻／IHS）

日時：2016 年 3 月 16 日（水）14:00 - 17:00

場所：東京大学駒場 I キャンパス 18 号館 1 階 メディアラボ 2 ルーム

使用言語：英語

備考：事前登録不要・参加無料

※本講演会に関するお問い合わせは、project3 [at] ihs.c.u-tokyo.ac.jp まで

※注意 IHS プログラム生には、参加後、報告書を提出していただきます。また、本講演会は IHS スタッフにより撮影・録音されます。撮影した画像・映像・音声を IHS の活動報告などにおいて使用させていただく可能性があることをご了承の上、ご参加ください。

主催

東京大学大学院博士課程教育リーディングプログラム

「多文化共生・統合人間学プログラム (IHS)」教育プロジェクト 3 「科学技術と共生社会」